

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 185 事業名 介護相談事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
取組	4	介護保険制度の円滑な運営

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	介護保険課	山田 喜道	(435-1190)
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		介護保険	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大事業		一般管理事業	
	事項		介護相談事業	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
--------	----------	-----------	------

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	介護保険制度において、円滑な保険給付を行うため要介護（支援）認定者及び家族からの相談、苦情の対応を行うとともに、事業者が提供するサービスチェック、利用者及び事業者に対するサービス情報を提供する。	介護保険制度について、要介護（支援）認定者及び家族からの相談、苦情の対応するとともにサービス提供現場訪問等を行う。また、介護保険サービスの質を維持・向上させていくために、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業者、地域密着型サービス事業者、介護保険施設等が提供するサービスの内容についてチェック、指導等を行う「介護保険監視委員」を和歌山市介護保険条例で設置しています。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの相談、苦情に対応し解決する。	介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの相談、苦情に対応し解決する。	介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの相談、苦情に対応し解決する。	介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの相談、苦情に対応し解決する。	介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの相談、苦情に対応し解決する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,702	1,032	2,326	1,128	2,326	1,128	437	437	0	0
伸び率 (%)	-	-	36.7%		0.0%		-81.2%		-100.0%	
人件費	常勤職員	8,281	8,020	8,281	2,669	8,181	2,241	8,281	10,507	8,281
	非常勤職員	2,277	820	2,277	1,332	2,277	1,191	2,277	332	2,277
	小計	10,558	8,840	10,558	4,001	10,558	3,432	10,558	10,839	10,558
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	1,702	1,032	2,326	1,128	2,326	1,671	437	437	0	0
所要人数	常勤職員	1.08	1.05	1.08	0.35	1.08	0.3	1.08	1.42	1.08
	非常勤職員	1.11	0.4	1.11	0.53	1.11	0.47	1.11	0.16	1.11
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
事故報告書点検件数				年度目標値					
				実績値			183	143	
単位				年度別達成度					
				年度目標値					
単位				実績値					
				年度別達成度					
成果指標				年度目標値					
				実績値					
単位				年度別達成度					
				年度目標値					
単位				実績値					
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	サービスの利用相談や苦情については増加傾向にあり、1件当たりの相談に要する時間も長いことから現状維持。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	